

# 令和元年(2019年)度

## 環境経営レポート

(活動期間：令和元年10月～令和2年9月)



**株式会社オーク環境**

**所沢リサイクルセンター**

埼玉県所沢市亀ヶ谷127-1

E-mail [recycle@ohku.jp](mailto:recycle@ohku.jp)

URL <http://www.ohku.jp>

作成：令和3年2月

## はじめに

社会活動と自然との調和を図り、資源循環型社会の実現に向けた継続的な取り組みを行っていくことが、現代社会における私たちに課せられた共通課題です。

当社は木材のリサイクルを通じて地球環境の保全に貢献し、子供たちの未来につながる社会を目指して、責任ある業務に努めております。また、石油・石炭を使用しない再生可能エネルギーである木質バイオマス燃料を発電所に提供することで、CO<sub>2</sub>削減に寄与しています。この度、環境活動に取り組んでいる姿勢、状況をご理解頂く為、環境経営レポートとして、取りまとめました。

## 1. 組織の概要

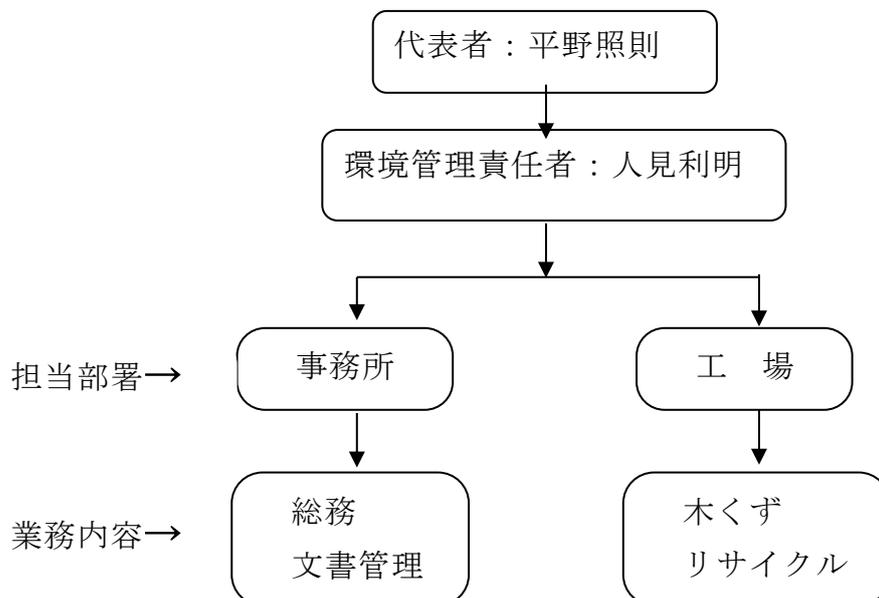
商号 株式会社 オーク環境  
代表者 代表取締役 平野照則  
所在地 〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷127-1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先  
責任者及び担当者 人見利明

連絡先 TEL : 04-2944-5612  
FAX : 04-2944-6806

資本金 5000万円  
法人設立年月日 平成18年11月6日  
事業内容 産業廃棄物中間処分業 木くずの再生（破碎）

### 環境活動実施体制図



事業の規模

活動規模	単位	H29 年度	H30 年度	R01 年度
処理量	t	16,749	15,095	14,045
売上高	百万円	178	169	172
従業員	人	9	9	10
敷地面積	m <sup>2</sup>	3,484	3,484	3,484

取得許可の内容

許可自治体	処分方法	許可取得年月日 及び 有効期限	許可番号	許可品目
埼玉県 西部環境	破碎	許可の年月日 : 令和 2 年 5 月 6 日 許可の有効年月日: 令和 7 年 5 月 5 日	01120153798	木くず

処理施設の種類及び能力

施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	設置年月日 許可年月日
破碎施設	77.80 t/日 (8時間)	木くず	設置: 平成 4 年 4 月 20 日 許可: 平成 13 年 2 月 1 日

保管施設の種類及び能力

産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
木くず	1140.0 m <sup>2</sup>	3.0 m (屋外)

保有重機・主な設備

パワーショベル…4台



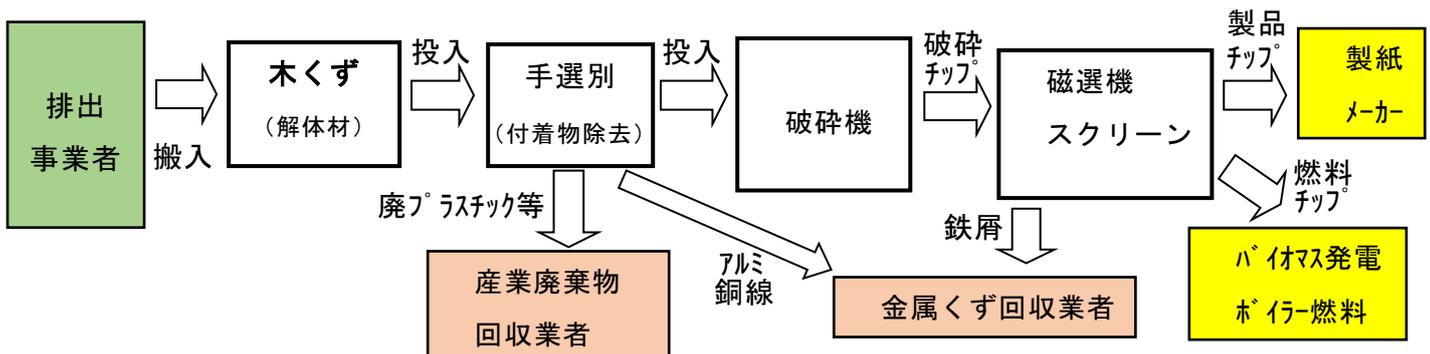
ホイールローダー…2台



破碎機(シュレッダ)SP200C型



リサイクル処理フロー



## 2. エコアクション21の登録認証の対象範囲

株式会社オーク環境は、全業務を登録範囲としています。

## 3. 環境経営方針

文書 No...D-01



# 株式会社 オーク環境 環境経営方針

1. 私たち株式会社オーク環境は、木材廃棄物リサイクル事業を営むに当たりエコアクション21の取り組みにより、全社・全員が一体となって、継続的改善と効果的・効率的な運営を図り、資源循環型社会の形成に努めます。
  - 1) 省エネと二酸化炭素の排出抑制に努めます。
  - 2) 廃棄物のリサイクル化を促進し、廃棄物有価物化を推進する。
  - 3) 節水を心がけ、水資源投入量を管理する。
  - 4) 資材等の購入に関してはグリーン購入法対象品を優先購入する。
2. 環境関連法規・条例等を遵守し、環境管理の維持向上に努めます。
3. 近隣、地域の方々や業務関係者と協働して、環境保全活動に取り組みます。
4. 環境教育・訓練により、社内における基本方針の周知徹底、環境保全の知識・認識、コミュニケーションの向上を図ります。
5. 全従業員に対し、SDGs(持続可能な開発目標)の周知及び普及に努めると同時に、継続的にSDGsが掲げる目標実現のための活動に取り組みます。
6. この環境経営方針及び環境経営レポートは社内・社外に公表します。

2020年10月1日

株式会社 オーク環境

代表取締役 平野 照則



株式会社オーク環境  
所沢リサイクルセンター

## 4. 環境目標 とその実績

過去3年間の環境負荷実績データの平均値を基準として、今後3年間の目標値を設定しました。

### 4-1 次期及び中期の環境目標

環境負荷削減中期目標			今 期	次 期	
項 目	課題	数値目標基準	R01 年度	R02 年度	R03 年度
		実 績	(2019 年)	(2020 年度)	(2021 年度)
節電	電気使用量 Kwh/ton ※	8.92 過去3年間の平均	8.79 基準の1.5%削減	8.74 基準の2.0%削減	8.69 基準の2.5%削減
	軽油使用量 ℓ/ton ※	3.32 過去3年間の平均	3.27 基準の1.5%削減	3.25 基準の2.0%削減	3.23 基準の2.5%削減
二酸化炭素排出	二酸化炭素 kg-CO2/ton ※	13.04 過去3年間の平均	12.84 基準の1.5%削減	12.78 基準の2.0%削減	12.71 基準の2.5%削減
節水	上水 m <sup>3</sup>	359 過去3年間の平均	354 基準の1.5%削減	352 基準の2.0%削減	350 基準の2.5%削減
	地下水 m <sup>3</sup> /ton ※	0.180 過去3年間の平均	0.177 基準の1.5%削減	0.176 基準の2.0%削減	0.175 基準の2.5%削減
グリーン購入	省エネ製品の優先購入	優先購入	優先購入	優先購入	優先購入
中間処理後の産業 廃棄物割合	最終処分量(委託) /処理量	0.10%~0.14% 過去3年間の実績	0.15%以下	0.15%以下	0.15%以下

※注：対象となる項目は、処理量と正の相関性がある為、処理量を分母として割った値を目標値の基準とした。

尚、中間処理後の産業廃棄物割合の目標値は、割合が極小の為、削減目標とせず、異常検出目的の上限値とした。

### 4-2. 今期（R01 年度：2019 年度）実績と評価

項 目	課題	今期目標	今期実績	目標との差	達成率	評価
節電	電気使用量 Kwh/ton	8.79	9.24	0.45 オーバー	94.9%	△
省エネ	軽油使用量 ℓ/ton	3.27	3.89	0.62 オーバー	81.0%	△
二酸化炭素排出	二酸化炭素 kg-CO2/ton	12.84	14.71	1.87 オーバー	85.4%	△
節水	上水 m <sup>3</sup>	354	215	139 マイナス	139.3%	○
	地下水 m <sup>3</sup> /ton	0.177	0.166	0.011 マイナス	106.2%	○
グリーン購入	省エネ製品の優先購入	優先購入	優先購入	なし	—	○
中間処理後の産業 廃棄物割合	最終処分量(委託)/処理量	0.15%以下	0.112%	0.038 マイナス	125.3%	○

表中の評価の記号 ○：目標内で達成率100%以上、△…目標オーバーだが達成率は80%以上、

×…目標オーバーで達成率としても80%未満

購入電力の排出係数は、平成28年度実績 東京電力エナジーパートナー(株) 実排出係数=0.000486 t-Co2/kWh を採用した。

## 5. 環境活動計画の取り組み結果とその評価

## 5-1 : 今期 (R01 年度 : 2019 年度) の取組実績と評価

評価基準 : (5 = 非常に良く出来た、4 = 良く出来た、3 = それなりに出来た、2 = あまり出来なかった、1 = 出来なかった)

目標	取組	取組手段	具体的な取り組み	年間評価
省エネルギー、二酸化炭素削減	1) 電力 使用量 の削減	空調温度の適正值維持	エアコン設定温度のこまめな設定	4.9
		プラント設備の保守・点検・整備	始業前点検・月次点検	5.0
		プラント設備(破砕機)の停止回数 の削減 : 月 2 回以下	適正な材料の投入量と材料に応じたベルコンの運転と停止	4.0
	2) 化石燃料 使用量 の削減	重機車両の保守・点検・整備・エコ運転	始業前点検、定期・年次点検	5.0
2. 総排水量削減		節水の掲示、励行	水栓付近の掲示	4.0
		適度な散水	過剰散水の禁止	4.0
3. 廃棄物排出 の削減		紙使用の削減	ミスコピーを減らす	3.8
		分別	廃棄物分類の周知	5.0
		廃棄物保管状況	保管場所区分表示	5.0
		整理整頓	廃棄物保管場所の清掃	4.0
4. グリーン購入		グリーン購入の配慮	指定品目を優先購入	4.0
		省エネ機材の使用	エコマーク製品の優先購入	3.0
5. 製品サービスにおける環境配慮		顧客への情報提供	分別指導、廃棄物規則など	4.0
		苦情・要望対応	発生都度タイムリーな対応	苦情 0 件
6. 環境コミュニケーション、社会貢献		環境活動レポートの活用	積極的配布	2020/5 HP 公開
		振動・騒音・悪臭の防止	作業上の注意	4.0
		近隣の清掃活動	隣接歩道の清掃 ; 毎朝 敷地隣接地の清掃 ; 週 1 回	5.0
7. 環境経営システムの運用		緊急対応の教育と訓練	手順書の理解と訓練	4.0
		環境教育の実施	職場会議の実施	4.0
		環境管理システムの維持	運用計画のチェック	5.0
		記録の作成	ファイルの保管・整理	4.0
合計				81.7
総合評価				4.3
昨年度達成率 84%				達成率 86%

## 5-2：次年度の取り組み

<b>① エネルギー・二酸化炭素</b>
次年度も引き続きエアコンのこまめな温度設定で省エネに努めます。 再生エネルギーの比率の高い、新電力に供給先を切り替え二酸化炭素の削減に努めます。
<b>② 水使用</b>
水量メーターの定期チェックで水漏れを監視、引き続き節水にも努めます。
<b>③ 廃棄物排出量の削減</b>
ミスコピーの削減や文書記録電子化により、紙使用の削減に努めます。 構内の整理整頓、清掃に努めます。
<b>④ グリーン購入</b>
文具・事務用品等の購入にはエコマーク表示品を選択するよう努めます。 今後、事務機器、重機、等の更新が必要な場合は、グリーン購入法対象製品を選ぶこととします。
<b>⑤ 環境コミュニケーション・社会貢献</b>
5月からホームページにて環境活動レポートを公開、継続して最新版を掲載します。 振動・騒音については、引き続き、就業時間内での重機作業を守り、過剰な操作を避ける、等、作業上の注意を払います。近隣の清掃活動についても、引き続き行います。また、SDGsの理解と具体的活動に取り組みます。

## 6. 環境関連法規等の順守状況

法令の名称	要求項目	規制の内容	遵守評価
廃棄物の処理および清掃に関する法律	処分の許可	許可証の有効期間	○
	産業廃棄物管理表	管理表の保管	○
	委託契約書	書面による委託契約	○
	帳簿の作成	処分記載事項 帳簿の保管	○
	保管場所の表示	表示事項	○
同上 埼玉県施行細則	実績報告	年度毎の実績報告	○
消防法	消火器に関する基準	消火器、消化用具の設置（150㎡以上）	○
浄化槽法	浄化槽の管理	清掃、定期点検	○

環境関連法令、条例、地域との同意事項などの逸脱は無く、過去5年間に訴訟・違反はありませんでした。また、周辺住民等からの苦情や要望もありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直し結果

	環境管理責任者報告事項	代表者評価
1. 環境目標の達成状況		
	<p>電力・軽油の使用量及び二酸化炭素排出量については、目標に対して、達成率80%以上であったものの、数値未達成の結果でした。但し、二酸化炭素排出量自体は、前年よりも1.2%削減した結果でした。</p> <p>これは、1月から流行し始めた新型コロナウイルスの影響で、経済活動が低迷、それに伴い顧客の来店台数が減少、結果処理量が減少傾向となった為と思われます。</p> <p>尚、電力の自由化で新電力の参入が目覚ましいが、再生エネルギー比率の高い電力供給先に切り替えることで二酸化炭素の削減に寄与すると考えます。</p>	<p>コロナウィルス流行の影響が経営危機までは至らなかったが、処理量の減少は大きな問題と考えています。</p> <p>節電、エコ運転は継続し、削減の意識を持って取り組みますが、再生エネルギーの比率の高い電力供給先に切り替えることで二酸化炭素の削減に努めます。</p>
2. 環境活動計画の実施及び運用結果		
	前年度より若干アップした総合達成率は、86%で、ほぼ目標達成したと考えます。	達成率の低い項目に注目し達成率向上に努めます。
3. 環境関連法規の遵守状況		
	環境関連法規の遵守状況に問題は、見られなかった。	産廃関連の会合情報に注目し、法規遵守に努めます。
4. 環境目標及び環境活動計画の策定		
	<p>環境目標は、前年、本年と目標未達の項目があり、逆に達成率が高すぎる項目もある為、見直す必要があると考えます。</p> <p>計画については、方針に追加したSDGs活動を盛り込みます。</p>	<p>経営の向上を踏まえた環境目標に見直します。方針に追加したSDGs活動を計画に盛り込みます。</p>
5. 外部からの環境に関する苦情や要望		
	<p>近隣住民からの苦情・要望は、なかった。</p> <p>また、顧客とのコミュニケーションでも、是正報告が必要な指摘事項は、なかった。</p>	<p>今後も、苦情・要望に対し、迅速な対応、是正対策を行います。</p>

## 代表者のコメント(見直し後のアウトプット)

本年は、新型コロナウイルスの流行の影響で経済活動が低迷し、当社の処理量減少に繋がりました。出来ることを皆で知恵を絞って乗り切るしかないと考えており、再生エネルギー比率の高い新電力への切替が二酸化炭素削減に大きく寄与すると考えています。また、SDGsの活用が、企業に求められる時代となっています。今後、エコアクション21の2017年版の移行、運用を通して、継続的な改善を行い会社経営の向上・発展に繋がります。

8.その他

8-1) 木質バイオマス燃料の発電所へ提供によるCO2削減

期 間	木質バイオマス燃料の量	CO2 削減量
2016/4/1～2017/3/31	801 t	481 t
2017/4/1～2018/3/31	638 t	345 t
2018/4/1～2019/3/31	335 t	181 t
2019/4/1～2020/3/31	335 t	178 t

※表中の数量は、川崎バイオマス発電所様より発行の『CO2削減量確認証』によります。

8-2) 取り組み状況の代表画像

近隣の清掃活動



清掃前



清掃中



清掃後

環境教育の会議風景



2020年6月20日 会議風景



2020年9月19日 会議風景

### 8-3) 地球規模の社会貢献

2010年4月から、(認定)特定非営利活動法人 リブ・フォー・ライフ美奈子基金の正会員となり、骨髄バンク維持発展の一助になっています。



## アクセス

ACCESS

関越自動車道「所沢」インターから5分  
インター出口から所沢方面へ向かい  
浦和所沢バイパス沿いの亀ヶ谷交差点そば



株式会社オーク環境  
所沢リサイクルセンター

TEL 04-2944-5612  
受付時間 7:30~18:30 (日・祝祭日除く)

<http://www.ohku.jp/>